

SDGsの世界観を体感する「SDGsすごろく」

JICA 海外協力隊員が途上国で子供たちに実践へ

今週7月8日(金) 15:00- 加山興業豊川本社(豊川市)で贈呈&合意書締結式実施

廃棄物の中間処理事業を中核事業として環境ソリューション事業を展開する加山興業株式会社(愛知県豊川市)では、子供たちが遊びながらSDGsの世界観を体感できる「SDGsすごろく」を作成し、愛知県内における環境教育を推進しています。この程、独立行政法人国際協力機構(JICA)では、その加山興業株式会社が作成した「SDGsすごろく」のデータを共有いただき、そのデータをもとにJICA海外協力隊が途上国において現地の言葉で「SDGsすごろく」を実践していくこととなりました。「SDGsすごろく」の贈呈及び使用合意書の締結式を7月8日(金)に加山興業豊川本社で実施いたします。締結式では、これまでの愛知県内での加山興業株式会社の「SDGsすごろく」の取組み紹介、JICA海外協力隊の取組みについて紹介します。ぜひ取材をご検討ください。

【加山興業株式会社×JICA 中部 合意書締結式】

- (1) 日時: 2022年7月8日(金) 15:00-15:30
- (2) 会場: 加山興業株式会社 豊川本社(愛知県豊川市南千両2丁目67)
- (3) 出席者: 加山興業株式会社 代表取締役 加山 順一郎
独立行政法人国際協力機構 中部センター 所長 小森 正勝ほか

1. 背景と目的

加山興業株式会社は、2020年は愛知県東三河地域と静岡県遠州地域に本拠地を置くバスケットボールチームである三遠ネオフェニックス社と連携して「SDGsすごろく」を制作し、教育機関やSDGs普及啓発活動など、様々な場面で提供してきました。

JICA海外協力隊では、「ゴミ問題」「自然保全」「環境理解」をテーマに活動を行う「環境教育隊員」がいます。これら隊員をはじめとしたJICA海外協力隊が現地の学校や、コミュニティなどで本すごろくを実践し、子供たちに楽しみながらSDGsについて学んでもらうことを目的としています。

2. 今後のJICAにおける「SDGsすごろく」活用

- ・ 2022年7月から現地で活動するJICA海外協力隊員及び日本で訓練を実施する隊員への「SDGsすごろく」データの共有
- ・ JICA海外協力隊員のSDGs普及啓発活動として、各国の言語に翻訳した「SDGsすごろく」による途上国の子供たちへの実践授業

【本件に関する問い合わせ先】

<p>・ JICA 海外協力隊について JICA 中部 市民参加協力課 平山あゆみ TEL : 052-533-1387 e-mail : Hirayama-Ayumi@jica.go.jp</p>	<p>・ 当日の取材、すごろくについて 加山興業株式会社 経営企画室 企画部 池田陽帆 TEL 0120-053-381 e-mail : ikeda@kayama-k.co.jp</p>
--	--